

次世代交通ビジョンおきなわ

【第5回 有識者会議】

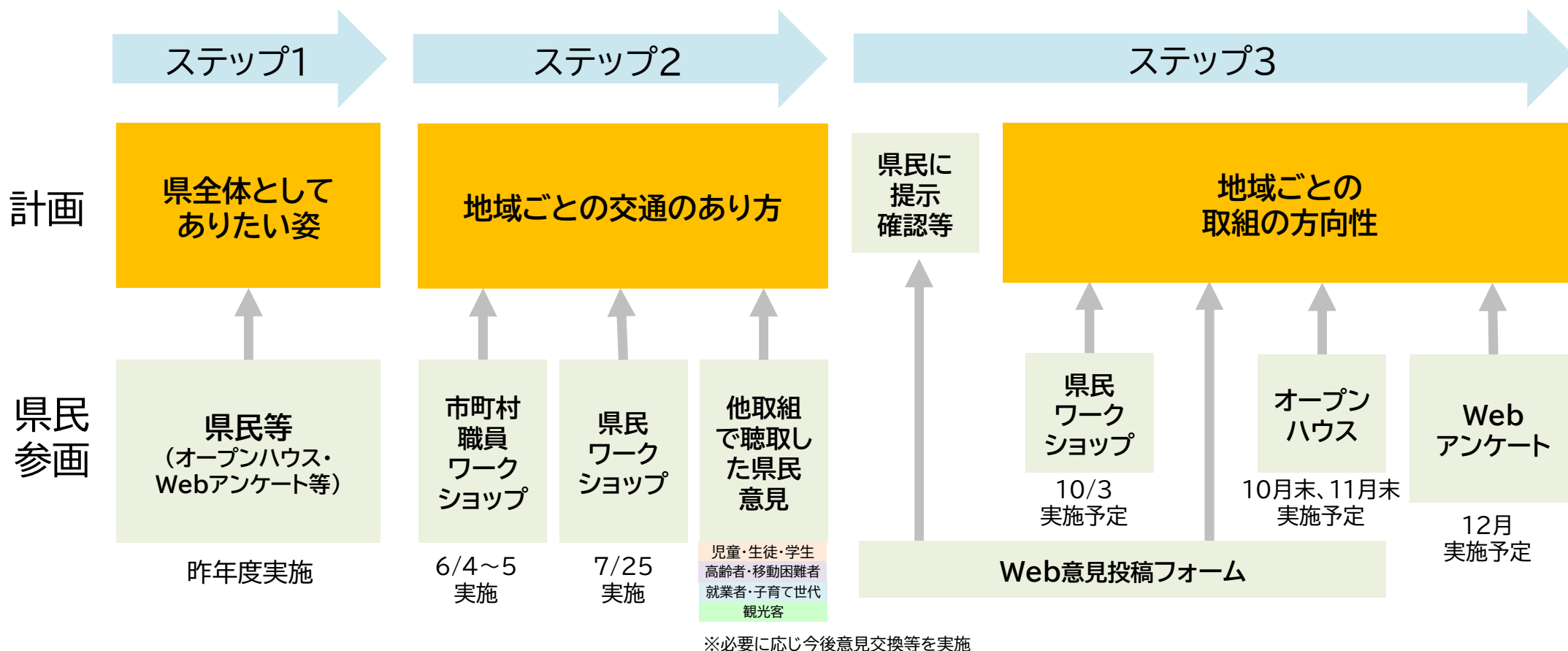
～ ステップ3の実施方法 ～

1. ステップ3の検討プロセス
2. ステップ3の「取組の方向性」とりまとめ方針

令和8年8月18日
沖縄県 交通戦略推進課

1. ステップ3の検討プロセス

- ステップ3「地域ごとの取組の方向性」では、ステップ2で描いた「地域ごとの交通のあり方」を県民に提示し、取りこぼしが無いかの確認を行いながら、「地域ごとの交通のあり方」を実現するための具体的な施策・取組の方向性について、県民参画を実施しながら検討を行う。



上記、ステップ3の期間中に
市町村や関係団体等との意見交換も実施
庁内においても意見照会等を行う

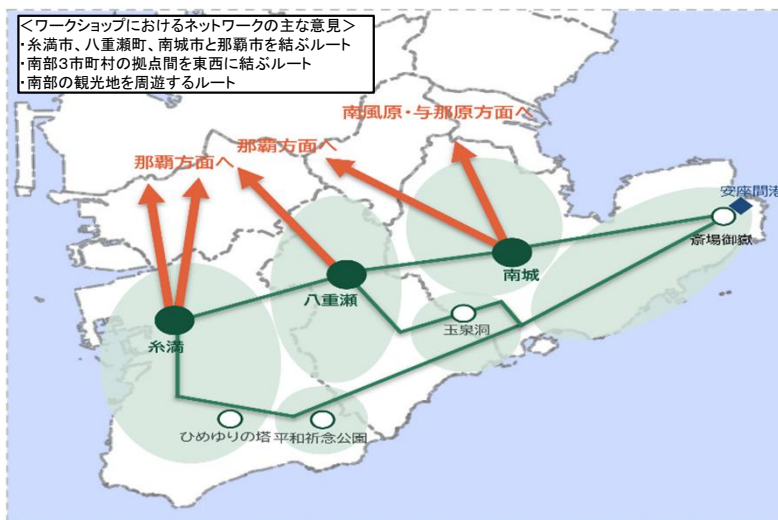
2. ステップ3の「取組の方向性」とりまとめ方針

目指す姿を実現する「取組の方向性」を、県民参画で描く

ステップ2 各地域で目指す姿

<イメージ(南部地域)>

那覇と速く結び、地域拠点を中心に集落まで支える



那覇まで、渋滞に関係なく移動できる

那覇まで速達性の高い交通で結ばれ、朝・夕の渋滞に時間を取られずに通勤・通学ができる。

家族送迎に頼らず、自分で移動できる

地域拠点から自宅まで多様な交通手段で支え、こども・学生が自分で学校・部活、塾に行けるとともに、高齢者が免許を返納しても通院・買物ができる。

クルマなしで観光地を移動できる

観光地が公共交通で結ばれ、レンタカーを使わなくとも移動ができる。

ステップ3 地域ごとの取組の方向性

目指す姿を実現するために、地域の中で具体的な地区や場所からどのような移動を希望するのか、また、公共交通を利用するための改善策など、県民意見をもとに検討する。

南部における取組の方向性(イメージ)

- ① 那覇方面への移動を30分以内で結ぶため、速達性が高い急行バス等を導入
- ② 路線バスの再編による人的リソース等を活用した地域の状況に対応した路線バスの運行等
- ③ 地域内の移動の拠点を各市町村に設置し、市町村が連携した拠点間を結ぶ広域コミュニティバスの運行
- ④ 市町村の拠点と集落など、短い区間を素早く移動するため、デマンド交通等の強化や利用しやすい環境の整備
- ⑤ 市町村の拠点や観光地を結ぶ周遊バスの運行、観光Maasなど利用者視点に立った選択可能な決済手段の整備、バス停の環境整備、バス路線の分かりやすい案内 等